



6/23

閉校記念「あじさいまつり」

神納中学校

▶ぼんぼりで幻想的に輝くあじさい花壇



神納中学校区郷育会議が主催する「あじさいまつり」も今年で8回目。今年度で神納中学校が閉校となるため、「閉校記念」と銘打たれ開催されました。

会場には500人余りが来場し、神納中学校吹奏楽部による演奏や子どもたちによるダンスの披露、まちづくり協議会の餅まき、地区の小学生が手づくりした150個のぼんぼりでライトアップされたあじさいの観賞などを楽しみました。

6/19

郷土の豊かな海「寝屋漁港体験学習」

寝屋漁港



▶漁師さんの仕事を間近で見学



さんぽく南小学校とさんぽく北小学校の3年生と5年生が、地域産業の学習体験として寝屋漁港を訪れました。

3年生はヒラメの稚魚を放流、5年生は遊覧船に乗って定置網漁を間近で見学。網が引き揚げられ、たくさんの魚が水しぶきをあげる様子を見たさんぽく北小の富樫颯真さんは「9人の漁師さんで重い網を引き上げて大変そうだけど、迫力があってすごい」と話していました。

6/17

戦国の世に思いを馳せる

平林ふれあいセンター

▶伊藤氏のユーモアあふれる講演に釘づけ



国指定史跡平林城跡保存会主催の歴史講演会が行われ、市内外から歴史ファン約70人が参加しました。

元鶴見大学文化財学科教授 伊藤正義氏が「色部氏年中行事と越後国瀬波郡絵図の世界について」と題し講演。2009年に放送されたNHK大河ドラマ「天地人」の話をつなぎながらのユーモラスで分かりやすい解説に、参加者は引き込まれていました。

6/20

シルクフラワー製作体験

下中島集落センター

▶色紙にコスモスを製作中



朝日地区で古くから作られているシルクフラワーの製作体験が、下中島集落の地域の茶の間で行われました。講師は朝日シルクフラワー製作工房の横井栄子さん。参加者7人は、和気あいあいとした雰囲気の中でも、真剣に作品づくりに取り組みました。

参加した笠川せい子さんは「難しいと思ったが、講師の丁寧な指導のおかげで、いい作品ができた」と喜んでいました。

作品は猿沢小学校の文化祭で、展示する予定です。

6/30~
7/1

あらかわラベンダーを楽しんでほしい
グリーンパークあらかわ総合運動公園

動画あり

▶ラベンダーの摘み取り体験



運動公園のラベンダー畑を管理する団体「風かおる丘ハーブメイツあらかわ」が、地域の皆さんにラベンダーに親しんでもらおうと開催した「あらかわラベンダーを楽しむ会」。

好天にも恵まれ、来場者はラベンダーの摘み取りをしたり、ラベンダー関連商品を購入したりして楽しんでいました。

別会場のつどい場「あら、ほっ」(旧荒島保育園)では、喫茶コーナーが設けられ、来場者は限定スイーツやハーブティーを飲んで、憩いの時間を過ごしました。

6/24

さくらんぼ祭りにぎやかに
大須戸集落

▶さくらんぼ狩りは140人が参加



昨年を上回る500人ももの来場者でにぎわった今年の大須戸さくらんぼ祭り。ステージでは音楽ライブやダンス、種飛ばし大会、屋外テントでは紙芝居などの多くの催しが行われました。

30個限定の「さくらんぼクレープ」や300パック限定のさくらんぼは、すぐに完売となる盛況ぶり。他にも焼きそば、ラーメン、牛すじ煮込みなどの模擬店、手ぶらで楽しめるBBQなど、晴天のもと、参加者は大須戸の魅力を堪能しました。

7/9

閉校後の活用アイデアはこれだ!
平林中学校

▶和気あいあいと世代を超えて語り合う



平林中学校区郷育会議が、今年度末で閉校になる中学校校舎の活用方法を考えるワークショップ「地域と子どもたちを語る会」を開催。小・中学生、高校生、地域の皆さん約60人が参加し、平林中学校の生徒が考えた4つの案を基に、実現するための課題やプロセスについて意見を出し合いました。

参加した人からは、「閉校はさみしいが、話し合いを通して、地域活性化の可能性を感じて元気が出てきた」などの声が聞かれました。

※4つの案は、平林中学校のホームページのブログに掲載しています

6/30

みんなが楽しめる学園祭
新潟リハビリテーション大学

▶笑顔でフランクフルトを販売



新潟リハビリテーション大学の学園祭「新リ八祭」も今回で22回目。

屋外の特設ステージでは、軽音サークルの演奏やダンスサークルのダンス披露、模擬店では冷やしパインや牛丼などの販売、型抜きやくじ引きなどの縁日が行われました。

大学校舎内では、骨密度測定やバランス測定、ストレスチェックなど心と体の健康体験や、大型スクリーンでのゲーム大会などが行われるなど、子どもから高齢者まで楽しめる学園祭となりました。